

若者向け葛布提案

静岡文化芸術大
デザイン学部 新製品やPR企画



葛布を使った新製品やPR企画を紹介する学生(右)
＝掛川市役所

掛川市は7日、同市「つぶ」を活用した新の伝統産業「葛布(か)製品の企画報告会を市

役所で実施した。静岡文化芸術大デザイン学部3年が葛布を使った若者向けの新製品やPR企画を提案した。ふじのくに地域・大学コンソーシアムのゼミ学生等地域貢献推進事業の一環。

学生たちは昨年8、9月に地元の葛布製作現場で行った葛布作り体験や現地調査を経て、企画の構想を検討してきた。報告会場には企画を紹介するパネルやイメージ商品を展示し、市幹部や葛布業

者らに向けて提案を行った。

9人が登壇し葛の糸を使ったランプシェードや葛布サシェ(匂い袋)など若者目線で考えた企画を紹介した。葛布の「認知度向上」を課題として挙げて、背景や目的、コンセプト(掛川支局・吉田史弥

トなどを明確にした発表が目立った。

学生が考案した企画の紹介パネルやイメージ商品は、早ければ3月上旬にも掛川城前の観光物産センター「こだわりっば」で展示される予定。